

I L C（国際リニアコライダー）に関する最近の状況について

1 I L Cに関する国内外の動き

2019年	
3月	国際将来加速器委員会（ICFA）の会議において、日本政府が初めて I L C 計画への関心を表明した。
2020年	
2月	〔ICFA会議〕 <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省が、米欧との意見交換の実施や現状認識等について発表し、改めて I L C への関心を表明した。 ・ICFAが、建設準備期間移行に向けた、高エネルギー加速器研究機構（KEK）を中心とした国際推進チームの設立を提言した。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州素粒子物理戦略において、日本において I L C がタイムリーに進めば、欧州は I L C に協力すること等が明記された。 ・KEKが「I L C プロジェクトの4段階」を公表。※ 次頁参照
8月	2月のICFAの提言に基づき、研究者コミュニティによりKEKを拠点として I L C 国際推進チームが設立され、I L C 準備研究所設立に向けた活動を開始した。 関係自治体や大学等により東北 I L C 事業推進センターが発足し、I L C 国際推進チームの活動に呼応し、建設準備のための実務的な調査検討を開始した。
10月	国際会議AWLC (Americas Workshop on Linear Colliders) 2020 で、米国政府（エネルギー省、国務省）が I L C に対する強い関心や支持、国際協議継続の姿勢を表明した。
12月	令和3年度政府予算案公表【文部科学省：4.8億円】（令和2年度と同額） <ul style="list-style-type: none"> ・先端加速器の低コスト化に向けた基盤技術開発 3.2億円 ・KEK運営費交付金の内数 1.6億円

2021年	
3月	国際会議LCWS (International Workshop on Future Linear Colliders) 2021 で、I L C 国際推進チームによる準備研究所に関する検討状況等について報告された。
5月	I L C 国際推進チームにより、I L C 準備研究所設立に関する提案書（暫定）が公表予定。

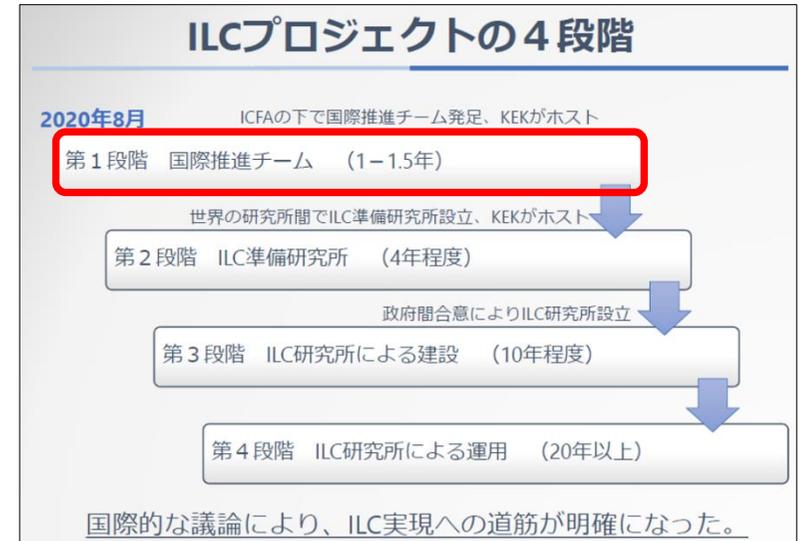
2 ILC国際推進チームについて

【任務】

ILC準備研究所に向けた準備を行うこと。 ※2021年末までの完了を想定

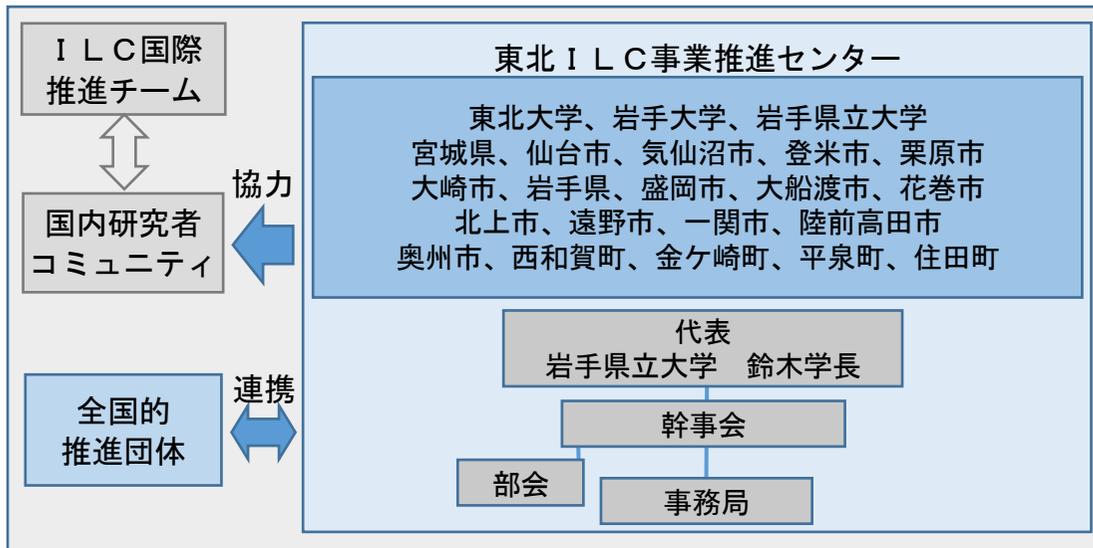
- ILC準備研究所の役割と組織の明確化
- 加速器、物理・測定器の研究開発、工学設計等
- ILC準備研究所に必要なリソースに関して各国の大学、研究所等と折衝
- ILC準備研究所設置に関して、各国当局の議論を支援するために必要な情報を提供

令和2年8月5日KEK公表資料より



令和2年6月26日 KEKメディアサロン資料より

3 東北ILC事業推進センターについて



【設立】 令和2年8月6日

【目的】

ILC国際推進チームに協力し、ILCの受入環境整備等について実務的に検討を行うこと。

【取組項目】

- 地域主導で取り組むべき課題の検討
- 研究者及び家族等の受入れや定住に対応した体制及びまちづくりの検討
- 地域住民の理解促進活動
- 自然環境や社会、経済等への影響に係る検討
- 地域資源の活用及び地域の振興に向けた検討
- 加速器関連産業の振興方策の検討

4 岩手県の取組

(1) I L Cの早期実現に向けた関係団体と連携した取組

- ・日本でのI L Cの実現を目指し、令和4年度のI L C準備研究所の設立に向けて積極的に対応するとともに、日本政府が主導し、国際的な議論を推進するよう、超党派国会議連や研究機関、推進団体、地元自治体等と連携した国への働きかけ
- ・東北・岩手における取組の進捗状況の積極的な発信とオンラインイベント等への出展、全国的な推進団体等の多様な主体と連携した国民の理解増進のための普及啓発活動

(2) I L Cプロジェクトの推進（I L Cの建設候補地としての受入環境整備）

ア I L Cの建設準備段階への移行に向けて、東北I L C事業推進センターと連携し、機材輸送に係る広域的な計画の検討やI L Cを契機としたまちづくりモデルの検討等、建設準備に必要な具体的な調査検討の実施



海上コンテナ運搬車両による
公道走行実証実験の様子

イ 「I L Cによる地域振興ビジョン」（令和元年7月策定）に基づき、県内企業の加速器関連産業への参入及び受注の促進、外国人研究者等の受入環境整備、グリーンI L C推進、人材育成などの取組の実施

(ア) セミナーの開催

・I L C技術セミナー

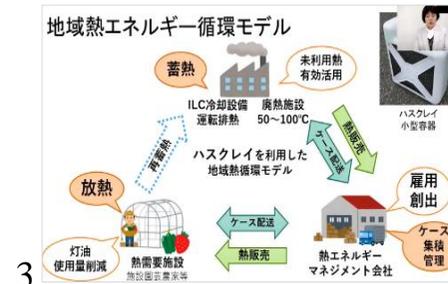
県内企業の加速器関連産業への参入を促進するため、いわて加速器関連産業研究会において、加速器関連の研究者等を講師した技術セミナーを実施。（全5回開催予定）



I L C技術セミナーの様子（R2. 9. 23）

・グリーンI L Cセミナー

地域の林業・環境関係者等と連携しながら、グリーンI L Cセミナーを開催し、I L Cの多面的な効果について普及啓発活動を展開。（計2回開催予定（8月、2月））



3

第7回グリーンI L Cセミナー
（R3. 3. 7）YouTubeより

(イ) 人材育成

- I L Cを担う人材の育成に積極的に取り組む学校を「I L C推進モデル校」に認定し、各校の取組成果を発表する「成果交流会」を開催。(2月)



I L C推進モデル校での講演会の様子
(R2. 12. 3 盛岡工業高校)

- 第3回いわての高校生サイエンス&エンジニアリングチャレンジ・コンテスト for ILC

- ① 県内の高校生を対象とした科学・工学コンテストを開催。
(11月開催予定)



コンテストに向けた実験の様子

- ② 優秀な成績を収めたチームを対象に、加速器及び素粒子に関する先端研究施設での研修を実施。
(3月)



コンテストの優勝チームによる先端研究施設派遣研修の様子

- 小中学生を対象とした出前授業の実施

※県央圏域：盛岡広域振興局
県南圏域：県南広域振興局
沿岸・県北圏域：県I L C推進局
(奥州市、一関市は独自に実施)



出前授業の様子
(R2. 10. 20：盛岡市立見前南中学校)